

目 次

序 論	[孫崎 享]	1
自由討論		5
発言要旨		7
発言内容		18
各 論		67
第一章	イラン体制維持派と改革派の経済面での相克 [大西 圓]	69
1 .	護憲評議会の権限縮小問題	69
2 .	エネルギー関連国営企業を巡る石油省と国会の対立	70
3 .	新投資法案の論点とその審議	72
4 .	アヤトッラー・ターヘリーが革命政権の統治の現状を象徴	80
第二章	ハタミ大統領選出後のイラン国内情勢の変化 [小林 伸一]	84
1 .	ハタミ大統領選出の意義	84
2 .	文化・社会面における変化	85
3 .	言論・政治面における変化	87
4 .	ハタミ大統領選出後の国内情勢の変化に対する評価	89
第三章	イラク情勢の予想しうる変化とイランの対イラク政策 [酒井 啓子]	91
1 .	イラクに対するアメリカの政策	91
2 .	米軍によるイラク政権の転覆のパターン	95
3 .	イランの対外政策に対するインパクト	98
4 .	日本・イラン関係、および日本・イラク関係	99
第四章	嵐を待ちながら [高橋 和夫]	101
1 .	「大悪魔」対「悪の枢軸」	101
2 .	アフガニスタン	102

3 . パレスチナ	106
4 . 大量破壊兵器	106
5 . 嵐を待ちながら	111
第五章 イランの対米関係改善の道程 [中西 久枝]	112
1 . はじめに	112
2 . イランの内政	112
3 . イランを取り巻く国際環境の変化	117
4 . 今後の展望	120
5 . 日本の対イラン政策への提言	124
第六章 日本の対イラン外交を考える [孫崎 享]	127
1 . 世界情勢及び日本の対外政策におけるイランの重要性	127
2 . 変革期を迎えるイラン政治情勢	129
3 . 対イラン政策の在り方	137
第七章 「悪の枢軸」演説と米・イラン関係およびイラン国内政治状況へのインパクト [松永 泰行]	139
1 . はじめに	139
2 . 「悪の枢軸」一般教書演説とイラン	139
3 . 「悪の枢軸」演説に対するイランの反応	144
4 . 「悪の枢軸」演説後の展開 ラフサンジャーニー発言から 「キプロス疑惑」へ	148
5 . イラン国内の政治的緊張の高まりと新「ブッシュ声明」のインパクト	150
第八章 イランは民主政国家か? 「悪の枢軸」と民主化論 [松本 弘]	155
1 . 問題の所在	155
2 . 民主化論の現在とイランへの視座	157
3 . イランにおける民主主義	163
4 . 結び	166